

川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会（美術・文芸部門）会議録（摘録）

1 日 時 令和7年2月13日（木）9時00分から

2 場 所 川崎市役所本庁舎19階 1902会議室

3 出席者

（1）委 員 家田委員、南雲委員

（2）事務局 川崎市市民ミュージアム 磯崎担当課長、奥沢担当係長

4 次 第 1 開会

2 懇談会概要説明

3 今回収集を予定している資料について

4 意見交換（資料収集方針との適合性や芸術性などについて）

5 閉会

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 0名

（次第一） 開会

（会議進行等説明）

（次第二） 懇談会概要説明、委員紹介

（資料1、2-1、2-2について説明、委員の紹介）

（次第三） 今回収集を予定している資料について

（資料3について説明）

（次第四） 意見交換（資料収集方針との適合性や芸術性などについて）

事務局

今回購入予定の2点の作品はいずれも30号のサイズで、2名の評価委員に評価をして頂き、2名の評価額の平均を取って500万円としました。作品出品歴については、「華・長寿」が第74回春の院展に、「長寿花咲く春」が第79回春の院展に出品されたもので、大矢先生については、昨年3月に日本芸術院賞を受賞し、これまでの画業の成果が認められたという状況であり、本市としても川崎市ゆかりの作家の作品を収集し、コレクションを充実させていくことを主眼に、本件を収集したいと考えています。

南雲委員

大矢先生は川崎市ゆかりの作家ということで、貴館でこれまでも作品を収集されており、今回もそれを継続されることは、貴館にとっても川崎市民にとっても素晴らしいことですし、今回の作品については、前回収集された「大樹・五色八重咲散椿図」とも関連性がある作品だと感じましたので、貴館で収蔵することはとても意味があることだと思います。

また、花瓶に入った花の絵については、サイズ的に近い作品を貴館で所蔵していたかと思いますので、まとめてお持ちになられることは、大矢先生の画業を振り返る上で有意義であると思います。

家田委員

大矢先生は川崎市ゆかりの作家なので、その点は南雲委員と同意見ですが、椿の作品を2点選ばれており、同じテーマ、同じ様式の、制作年が近い作品を同時にお求めになることについて、今後のミュージアムでの利活用をどのように考えているかをお伺いします。

事務局

今回収集予定の作品については、市役所本庁舎に展示したいと考えております。御承知の通り、当館は令和元年東日本台風で被災し、館としては仮設事務所で運営しており、展示機能は他館を利用させて頂いておりますが、作品・資料の展示環境は整っていないという現実があります。一方で、市役所本庁舎には、ピクチャーレールにて絵画の展示が可能な場所もあります。

新たなミュージアムについては、令和13年度末に完成予定であり、完成までに7年を要します。作品・資料は見て頂くことで初めて価値を発揮するものですし、見て頂く機会の創出が何より重要であると考えておりますので、通常の博物館・美術館ほどの展示環境ではないですが、市役所本庁舎に展示する方向で調整しているところです。

家田委員

ミュージアムのリニューアルオープンは少し先の話ということですし、展示に供する機会の創出のために本庁舎内で展示することは有効かと思います。

もし今後も大矢先生から作品をお求めになり、将来的にミュージアムでの展示を考えられるのであれば、画業が固まる前の、今の矢先生の様式ではない時代や年代が離れた作品で、既に収蔵している作品と同じモチーフ、同様のサイズの作品があれば、画家の回顧展をする上で作品の変遷が良く分かり展示もしやすいですし、画家の画業を一層深く知るきっかけになると思います。

事務局

本件については、両委員の御意見も鑑み、当館としては収集する方向で検討を進めさせて頂きたいと思いますが、他に御意見等はございますか。

南雲委員、家田委員

特にありません。

(次第一五) 閉会